

田子の浦港

# 1年間に223億6500万円の 輸出入が

田子の浦港へ行くと大きな船からチップや木材をおろしたり、荷物を積んだりしていますね。外国の船もたくさん入ってきますが、さきごろ清水税関支署田子浦出張所から、昨年1年間の輸出入の貿易概要が発表されました。

輸出は26億300万円、輸入は197億6200万円で、合計223億6500万円となり、49年が223億9900万円ですからわずかに減っています。

## 輸出

輸出は26億300万円で、49年が25億8100万円でしたからわずかに増えています。品目別には製紙機械を主体とした「一般機械」が一番で14億5900万円、次いで「紙・板紙」が5億6200万円、富士宮特産の「にじます」1億3800万円などです。

輸出先では、ニュージーランドが

6億4200万円で全体の24.7%を占めています。これは製紙機械のプラント輸出によるものです。次いで中国が紙・板紙を中心に5億6200万円、カナダが製紙機械などで4億7000万円、インドネシアが製紙機械、紙・板紙の輸出で3億5200万円です。このほか、韓国、マレーシア、イギリス、アメリカなど全部で20カ国にも



及んでいます。

## 輸入

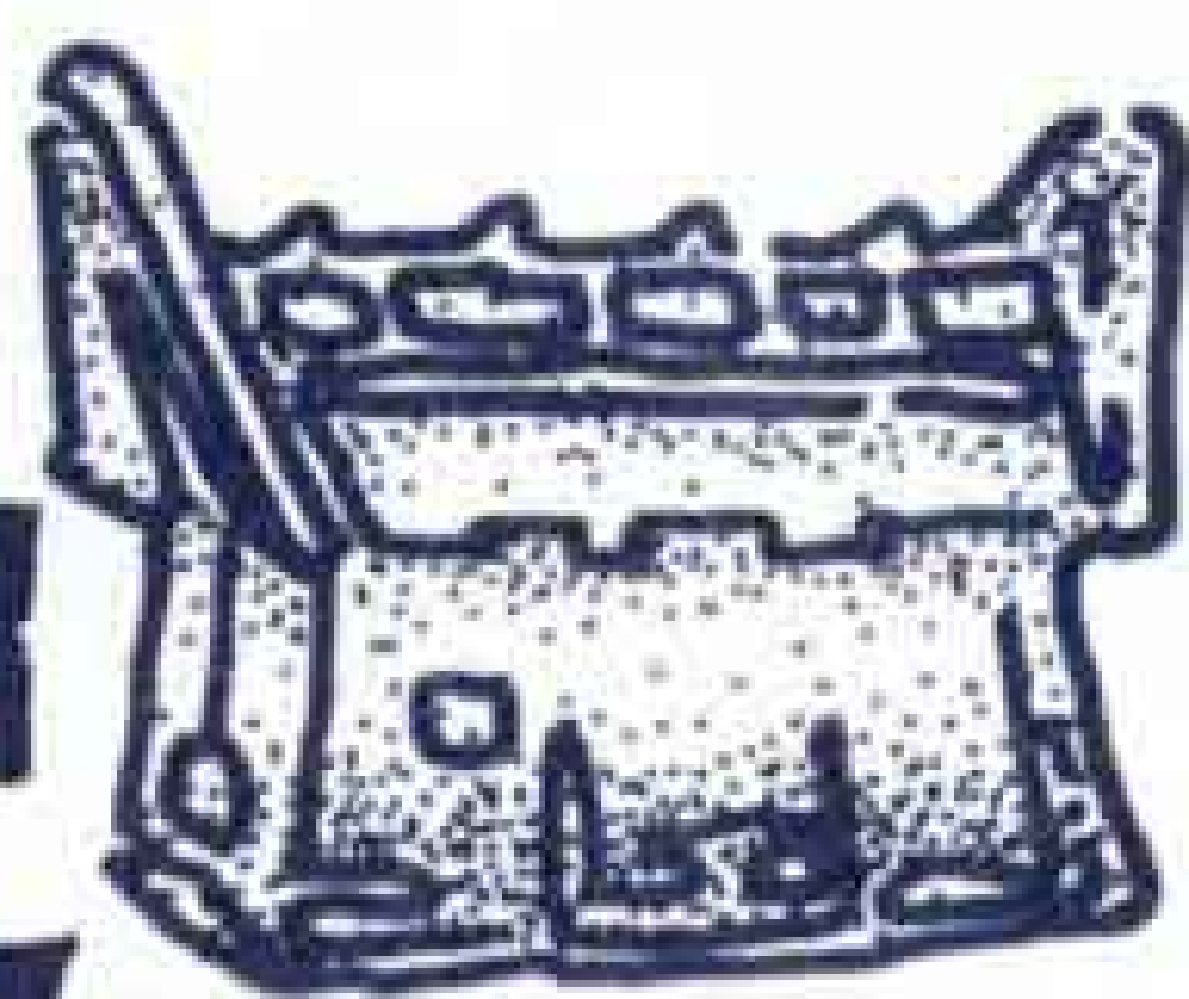
輸入は197億6200万円で、前年が198億1800万円ですから、わずかに減少しました。品目別では「とうもろこし」が18万トンで83億6200万円、「木材チップ」が28万トンで57億9600万円、「木材」が23万立方メートルで40億9500万円、以上の3品目で全体の94.6%を占めています。

輸入先別では南アフリカがとうもろこしを主体として61億1200万円、次いでマレーシアが木材、チップなど

で52億2800万円、このほかアメリカ、モザンビーク、ソ連、インドネシアなど23カ国にも及んでいます。

外国貿易船の入港数は159隻で、前の年に比べ21隻少なくなりました。国籍別では、日本が43隻、リベリア34隻、パナマ25隻、マレーシア19隻、ソ連14隻、ギリシャ7隻などで、14カ国の船舶が入港しました。

# ふるさと の歴史



# 道ばたの神様

1月14日は、どんどん焼きでした。みんなは、どんどん焼きはなんのお祭りか知っていますか。どんどん焼きは道祖神(どうそじん・道を守ってくれる神様)のお祭りです。

家の近くに、道祖神とか佐倍乃加美(さえのかみ)と文字をほった石や、男の人と女の人が手をつないだりしているようすをほった石がありませんか。それが、道祖神です。

ところで、どんどん焼きのだんごを食べるとカゼをひかないとか、虫歯にならない、そのほかにも竹を屋根にのせておくと火事にならないとかいろいろ言われています

ね。昔の人達も、道祖神にたくさん願いごとをしました。村に悪い病気が入ってこないように…今年も豊作でしあわせがくるように…元気な子供が生まれて丈夫に育つようにと…

道祖神は、さんさ路や村と村との境、神社の境内にあってみんなを守ってくれるとっても大切な神様でした。ですから、村にはたいい道祖神があつて大切に祭られていました。今ではどんどん焼きを田んぼの中や河原など広い場所で行いますが、大淵や岩松、鷹岡では、今でも道祖神の前で行うところもあります。

